



中国明代の白話長篇小説研究

[キーワード: 金瓶梅、西遊記、小説批評]

准教授 田中 智行

〈研究の概要〉 中国の古典小説、とくに明代の白話(口語体)長篇小説を専門としている。なかでも『金瓶梅』の研究に継続的に取り組んでおり、現在、詳細な注釈つきの新訳を刊行準備中である(個人訳としては初めての完訳)。

『金瓶梅』は古くから中国小説史における里程標と称される画期的な作品であり、本研究は作品の小説技法面における高度な達成と、その技法によって目指された効果とを明らかにし、また小説批評におけるその論じられ方にも着目して、作品の持っていたインパクトを多角的に把握することを目指している。

一方でこの作品は、現代につづる中国人の心性を理解するのに必読とされており、良質な一般向けの新訳を送り出すことによって、中国文化理解の一助ともなることを志している。



〈主要研究業績〉

田中智行(2018、印刷中)『新訳金瓶梅 上巻』鳥影社

田中智行(2013)『『金瓶梅』張竹坡批評の態度—金聖歎の継承と展開—』『東方学』125、東方学会、72-89

田中智行(2010)『『金瓶梅』第三十九回の構成』『東方学』119、58-72

田中智行(2009-2013)『龍谷大学図書館蔵『玄奘三蔵渡天由来縁起』翻刻』『徳島大学国語国文学』22(1-20), 23(1-20), 24(1-28), 25(15-43), 26(13-38)

田中智行(2005)『『金瓶梅』の感情観、—感情を動かすものへの認識とその表現—』『日本中国学会報』57, 90-102

専門分野 : 中国古典文学

E-mail: tanaka.tomoyuki@tokushima-u.ac.jp

Tel : 088-656-7115

Fax :

詳細情報 : <http://pub2.db.tokushima-u.ac.jp/ERD/person/179121/profile-ja.html>